

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2010.10.25

No. 52



明日の日本を背負う若者よ しっかりせよ！

今世の中は大変難しい時代を迎えています。グローバル化の進行により、世界経済は激しく揺れ動き、日本の産業界はそれに伴いその舵取りが難しくなっています。かつての経済大国という威信は次第に薄れ、先行きに不安がつのるばかりです。

30年くらい前にアメリカが日本の台頭に伴い、経済が疲弊した時期がありましたが、そんな中で西部のシリコンバレーを中心として若者達が新たな情報産業を盛り立て一気に経済の回復をはかりました。中国の現在の急激な経済発展の一翼を支えているのも実は、若い人達が極めて前向きで意欲的に様々なことにチャレンジしているからです。

日本の若者はどうでしょうか。勿論頑張っている若者も少なくないと思いますが、少なからぬ若者達が湯きを知らず豊かさの中に浸りきり、ゲームに夢中になる等ただ自分の目の前の時間の消費にうつつを抜かしている様に思えてなりません。これからの日本を背負っていかなくてはならない若者達がこの様な状況で、これからの日本をどう盛り立てていくのでしょうか。大変心配です。国が衰えるということは、自分達の生活が貧しくなることに繋がります。

進路が決まった者が多くなり、あとは卒業を待つばかりといわんばかりにやや浮き足立で来ている者が目立ってきましたが、もう少し世の中の動きに目を向け今自分が何をしなくてはならないかを考えて欲しいものです。

我慢が出来るか？！



先日ある企業に応募書類を出しに行った際、「今の子供は我慢が出来ずちょっとしたことで辞めてしまい困る」といった趣旨のお話を伺いました。また来校した調理専門学校の方も、「調理師の資格を取り入社しても、我慢が出来ずすぐ辞めてしまう子が多くて困る」と同じような話をされていきました。

本校でも今年の3月卒業してすでに辞めてしまった生徒が何人かいます。社会に出れば、学校時代のような甘やかしはなく、皆さんにとっては色々な面で辛いことが少なくないはず。それはどんな職場でも同じことです。全て自分の思い道理にいくなどということは皆無です。そうしたことに耐えていかなくては今の世の中生きていかれません。また同世代だけで過ごしてきた皆さんにとっては、職場の縦の人間関係にも慣れず、そうしたものにストレスを感じずるかもしれませんが、追々慣れていかなくてはいけないことです。

「我慢をなささい」と言葉で言っても、現実はその簡単に受け入れられないかもしれません。しかし世の中に出れば様々なストレスがあることだけは覚悟しなくてははいけません。しかもそのストレスに耐えられる強じんな精神力を養っていかなくては今の世の中では生きていかれないことも確かです。気分転換できる趣味や、気軽に相談できる友人を作っておくことも大切です。